

まほろん

Shinjokawa since 2007



【レポート】夏のイベントをふりかえる
まほろんのあつ〜い夏 2023

【みどころ紹介】令和5年企画展

「会津の中世」

【新収蔵資料紹介】『銅谷迫遺跡・後迫 B 遺跡』

Check it out! 秋冬の行事案内



2023 夏のイベントをふりかえる

まほろんのあつ～い夏

7月9日

館長の子ども考古学教室

館長の特別授業?!

「土器をつくる、つかう」をテーマに当館館長から土器の観察の仕方などを学びました。



館長のお話に惹き込まれる参加者のみなさん

まるで考古学者のよう
な真剣な眼差し!



7月29日

石器づくり名人がやってくる

山形県埋蔵文化財センターの大場正善名人による石器づくりの実演を行いました。



名人の技巧に目が釘づけ!



名人のつくった石器の展示コーナーもありました。

表紙の1枚

野外展示に隠された職員手作りの土偶をさがすイベント『土偶をさがそう』に挑戦中の3人組。あつというまに5つの土偶をみつけだしました。

8月6日

子ども考古学教室

当館職員に加えて、県立白河高校の鎌水実先生を講師にお迎えして、「木のうつわ」のつくり方などについて学びました。



『フタリビキクロ』を体験! すっかり職人さんの顔つきです

鎌水先生は木地師について考古学と民俗学、ふたつの視点からお話されました。



遺跡からみつかった木製品を観察してわかったことを、まとめたよ!

白河高校の生徒さん
も参加して
くださいました



7月15日～8月31日

夏休み特別体験

SUMMER

定番の勾玉づくりや火おこし体験に加えて、『土偶のお顔ブローチづくり』、『うちわづくり』、『土偶をさがそう』など、夏休みだけの特別な体験が盛りだくさんでした。



本物の土偶
えっくらに
できたよ!

自分の土偶
のお顔がもしろく
て笑っちゃうの!
えへ



いとこ同士の男の子たち。猛暑に負けず元気いっぱいです。かっこいい勾玉もつくりました!

『土偶をさがそう』の賞品のポストカードを手に、ステキな笑顔をみせてくれました。



表紙に写ってくれた3人組です。墨流しも
うのうわ、とっても上手にできました。



仲良し家族。娘さんが小さな頃からまほろん
によくきてくれています。まほろんで
の思い出話をたくさんきかせてくれました。

「会津の中世」

文：廣川 紀子（専門学芸員）

白磁四耳壺は会津坂下町陣が峯城跡から見つかったものです。平安時代の終わりごろに築かれた陣が峯城跡からは、他にも白磁や青磁などの貿易陶磁器が出土しており、それらを合わせてご覧いただけます。

②・③は喜多方市会津新宮城跡に関わる資料で、②は香炉とみられる青白磁製の象の裝飾部分、③の空撮写真は周囲を堀跡で区画された館跡の主郭部分です。新宮城跡は、鎌倉幕府の成立以降に会津地域を治めた三浦佐原氏に系譜がたどれる新宮氏の居館と考えられています。同じく北田氏の居館と考えられる湯川村北田城跡とともに展示しています。

④は会津美里町向羽黒山城跡の空撮写真です。蘆名盛氏によって築かれた東北最大級とも

日本の中世史は、文字で残された記録だけでなく、遺跡から発掘される考古資料から新しい発見があることも少なくありません。福島県会津地方では、中世の時代を代表する国や県から指定を受けた史跡や重要文化財が多数存在します。今回の展示では、それら指定文化財とともに関連する考古資料を展示し、会津の中世のくらしの様子をたどります。

それでは下に掲載しているポスターの写真から、展示資料のいくつかをご紹介します。

ひとときわ目を引く①



いわれる山城で、展示室には1000分の1の大きさのジオラマを置いています。同時期に同じ蘆名氏により築造された北塩原村柏木城跡とともに戦国期の山城をご覧ください。この他にも、喜多方市松野千光寺経塚出土資料、会津若松市大戸窯跡群出土資料や当館収蔵の関連資料を展示しています。

関連講演会

『会津の城』 講師：飯村 均氏
(元福島県文化振興財団)

日時：令和5年11/25(土)13:30～15:00

場所：福島県文化財センター白河館（まほろん）講堂

申込方法：令和5年10/28(土)午前10時から電話または当館備え付け申込用紙にて受付。



まほろん令和5年度

秋冬の行事案内



11/4・5 まほろん感謝デー

アクアマリンふくしまの移動水族館も来るよ!

11/25 「会津の中世」関連講演会（10/28～申込開始）

12/3 まほろん森の塾（5回目）

第4回館長講演会「石川町鳥内遺跡を語る」

2024年

1/20 企画展「戦後ふくしまの考古学2」開幕（3/10まで）

1/27・28・30・31・2/1 実技講座「土師器づくり」

2/4 第5回館長講演会「石庖丁の考古学」

2/17 企画展「戦後ふくしまの考古学2」関連講演会1

3/2 企画展「戦後ふくしまの考古学2」関連講演会2

3/10 実技講座「土師器づくり（野焼き）」

※申込方法などの詳細は、当館にお問合せいただくか、まほろんホームページにてご確認ください。



昨年の移動水族館の様子



昨年の土師器づくり野焼きの様子

中間貯蔵施設建設に伴う調査

—銅谷迫遺跡・後迫B遺跡—

文：井 憲治（学芸課長）



後迫B遺跡発掘調査風景

銅谷迫遺跡及び後迫B遺跡は、浜通りほぼ中央部の双葉町に所在し、前田川及び細谷川が形成した沖積平野を北に臨む通称郡山台地上（旧町役場南東）に位置します。

両遺跡は、中間貯蔵施設（土壌貯蔵施設等）建設に伴い、平成30年度から令和2年度までの3ヶ年に渡って発掘調査が実施されました。

この発掘調査は、過去に前例のない帰還困難区域内での特異な環境と高線量下において、各関係法令・ガイドライン遵守の下、通常の調査と比して制約が多々ある中での調査となりました。

調査の結果、銅谷迫遺跡からは弥生時代、古墳時代終末期～奈良・平安時代、近世の多くの遺構・遺物が検出されました。

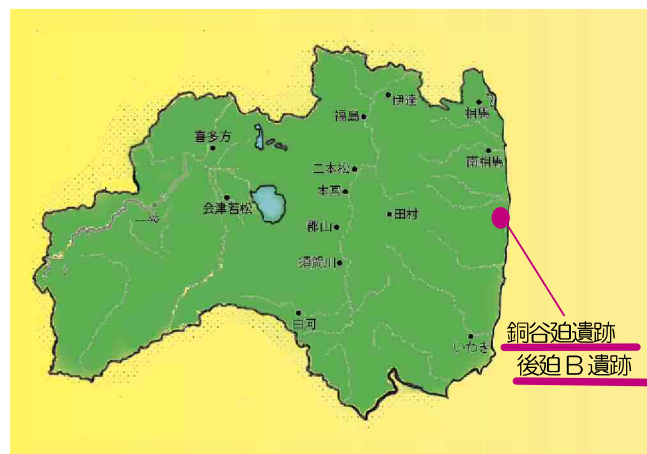


銅谷迫遺跡調査区全景（北西から）

特に、古代を主体とする竪穴住居跡や掘立柱建物跡等の多数の遺構が確認され、隣接する古代むつこくしねはぐんが陸奥国標葉郡衙推定地の郡山五番遺跡や官窯と考えられる陳場沢窯跡等と密接に関わり、その造営（創建期）に携わる人々の居住域としての性格や、郡衙機能の一部を担っていた遺跡と考えられます。

また、後迫B遺跡では古代の遺構・遺物のほか、東日本地域における儀礼等の波及を示唆する希少な資料として、弥生時代中期の武器形石製品の磨製石戈（せつが）と磨製石剣（せつけん）が各1点出土しています。

今後、未公開であった中間貯蔵施設建設に伴う遺跡の調査方法やその成果等について、公開していく予定です。



募 集

「うちでできる土器づくり」(web配信)と「うちでできる勾玉づくり」(web配信)の参加者募集中です。

学校や公民館等でのご利用もお待ちしております。

※詳細はまほろんお問合せいただくか、まほろんホームページをご覧ください。



まほろん公式SNS

フォロー＆チャンネル登録お待ちしています！

INSTA
GRAM



YOU
TUBE



編集後記

今年の夏は、久しぶりに多くのお客様で賑わうまほろんでした。

編集作業中、みなさまの笑顔の写真をみるたびに、ステキな夏の思い出が蘇り、あたたかい気持ちになりました。スペースに限りがあるのですが、わたしの心のアルバムに大切に残しておきたいと思います。

まほろん 通信 vol. 89

令和5年10月18日発行

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（1/8、2/12を除く）、11/24、
年末年始（12/28～1/4）1/9、2/13、
3/21
入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）



〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86
☎ 0248-21-0700
Fax 0248-21-1075
ホームページ まほろん 検索

